

科目名	スポーツ自由研究A							年度	2026
英語科目名	Selective study for sports A							学期	通年
学科・学年	スポーツトレーナー科 1年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	田原	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		

**【科目の目的】**

スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、その実態や動向を明確にして、その意味・本質など見極め理解を深めることを目的とします。  
 今後社会に出て、スポーツ関連業種で働くために、裏方の存在を知ることと、スポーツに求められていることを理解できるようになることがねらいです。

**【科目の概要】**

スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。

**【到達目標】**

学生が1つの事柄の成功に向かって、準備～撤収までを協力して行うことを目標としています。①体育祭などを通じて、スポーツ・医療カレッジが担う業務・運営を行い、成功に導くことを目標とします。②スポーツ活動・スポーツイベントにおけるボランティア活動（スタッフ実務など）を行い、スポーツの理解を深めることを目標とします。

**【授業の注意点】**

授業時数の4分の3以上出席しない者は出席不良となり修得不可となります。体育祭は、学校全体の行事です。科目履修としてだけでなく、学内活動の参加として積極的に行動してください。科目履修としてだけでなく、学内活動の参加として積極的に行動してください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる		イベントの成功に向け、スケジュールを逆算した行動をすることができる		イベントの成功に向け、行動をすることができる
到達目標 B	イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、少しだけ主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、指示を受ければ、役割を果たすことができる
到達目標 C					
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

配布プリント

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

課題・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スポーツ自由研究A			年度	2026
英語表記		Selective study for sports A			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	オリエンテーション	1 イベント内容の確認	イベントの概要を知り、イベント実施内容とスケジュールを確認します	3	
			2 スケジュールの確認			
5	イベントの企画	イベントの企画立案作業	1 企画案の募集	企画の案出し作業をグループワークで行います	3	
3			1 企画案のプレゼン準備	企画案のプレゼン準備をグループワークで行います	3	
4			1 企画案のプレゼン	グループで企画案のプレゼンを行い、コンペ方式で提案します	3	
5			1 企画案の選定と準備計画	採用された企画案の準備計画をグループワークで決定します	3	
6						3
7				3		
8				3		
9	イベントの準備活動	イベントの準備活動	1 イベントの準備活動	準備計画に基づいてイベントの準備活動を実施します	3	
10				3		
11				3		
12				3		
13	イベントの実施	イベントの実施	1 イベントの実施	イベント当日、企画案および準備計画に基づきイベントを実施します	3	
14					3	
15	まとめ	イベントのまとめと振り返り	1 イベントのまとめと振り返り	イベントのまとめと振り返りをグループで行い、反省点を見出し、次のイベントに向けた改善点を洗い出すことができる	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等